

# 社会資本総合整備計画 事後評価書

平成27年4月

計画の名称	活力ある伏木富山港、魚津港づくり		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)	交付対象	富山県、富山市、射水市、高岡市
計画の目標			

岸壁や臨港道路など港湾施設整備を実施し、利便性の向上を図り取扱貨物量の増加を目指す。  
また、港湾環境整備により地域住民や観光客が来訪したくなる港としての魅力を向上させ、活力ある港づくりを目指す。

### 計画の成果目標 (定量的指標)

- ・効果的な港湾施設の建設により、伏木富山港・魚津港の取扱貨物量を5,598千t/年(H21)から5,710千t/年(H26)に増加させる。(増加率2%)  
過去5カ年の増加率1.2%【11,380千t(H16)から11,521千t(H20)】より高く設定
- ・魅力ある港湾環境の形成により、伏木富山港緑地、魚津港緑地の来訪者数を1,191千人(H21)から1,430千人(H26)に増加させる。(増加率20%)  
過去5カ年の平均的な増加率17%【1,044千人(H18)から1,080千人(H19)×5年】より高く設定

### 定量的指標の定義及び算定式

伏木富山港、魚津港の取扱貨物量  
(伏木富山港、魚津港の取扱貨物量の増加率) = (評価時点の取扱貨物量 - H21の取扱貨物量) / (H21の取扱貨物量)

伏木富山港(海王丸パーク、元気の森公園、運河学習支援船)、魚津港(海の駅)の利用者・来訪者数  
(訪問者数の増加率) = { (評価時点の年間各施設利用者数の合計) - (H21の年間各施設利用者数の合計) } / (H21の年間各施設利用者数の合計)

### 定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値	中間目標値	最終目標値	備考
(H21当初)	(H24末)	(H26末)	
5,598千t	5,654千t (1%増)	5,710千t (2%増)	
1,191千人	1,334千人 (12%増)	1,430千人 (20%増)	

全体事業費	合計 (A+B+C)	2,288 百万円	A	1,757 百万円	B	17 百万円	C	513 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	22.4%
-------	---------------	--------------	---	--------------	---	-----------	---	------------	---------------------------	-------

## 事後評価 (中間評価)

○事後評価(中間評価)の実施体制、実施時期	
事後評価(中間評価)の実施体制	事後評価(中間評価)の実施時期
富山県土木部港湾課	平成27年4月 公表の方法 富山県ホームページ

### 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨港道路堀岡線等の整備により、伏木富山港の利便性が向上し、取扱貨物量が増加した。</li> <li>・緑地整備や新湊大橋のライトアップなどにより、伏木富山港や魚津港の魅力が向上し、来訪者数が増加した。</li> </ul>				
II 定量的指標の達成状況	指標①(伏木富山港、魚津港の取扱貨物量の増加)	最終目標値	5,710千t/年 (2%増)	目標値と実績値に差が出た要因	施設整備のほか、県内外や海外へのポートセールスなどの実施により伏木富山港の利用促進を図ったため。
		最終実績値	7,401千t/年 (32%増)		
II 定量的指標の達成状況	指標②(伏木富山港、魚津港の来訪者の増加)	最終目標値	1,430千人/年 (20%増)	目標値と実績値に差が出た要因	事業進捗の遅れが要因の1つと考えられる。
		最終実績値	1,332千人/年 (12%増)		

### III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)

### 3. 特記事項 (今後の方針等)

伏木富山港及び魚津港の今後さらなる魅力向上につながるよう、引き続き事業進捗に努める。

(参考図面) 活力創出基盤整備

